

平成31年第1回花巻市教育委員会議（定例会）議事録

1. 開催日時

開会 平成31年1月22日（火） 午後1時35分

閉会 平成31年1月22日（火） 午後1時45分

2. 開催場所

石鳥谷総合支所 3-2、3-3会議室

3. 出席委員（6名）

教育長 佐藤 勝

委員 中村 弘樹

委員 照井 善耕

委員 伊藤 明子

委員 役重 眞喜子

委員 衣更着 潤

4. 説明のため出席した職員

教育部長 布臺 一郎

教育企画課長 岩間 裕子

学務管理課長 熊谷 直樹

学校教育課長 中村 哲

こども課長 今井 岳彦

文化財課長 平野 克則

5. 書記

教育企画課 係長 大竹誠治 主査 佐々木晶子（書記）

○佐藤勝教育長 ただ今から、平成31年第1回花巻市教育委員会議定例会を開会いたします。会議の日時、平成31年1月22日、午後1時35分。会議の場所、石鳥谷総合支所3-2、3-3会議室。日程第1、会期の決定でございます。本日一日とすることに御異議ございませんでしょうか。

（異議なしの声）

○佐藤勝教育長 異議なしと認め、本日一日と決定いたします。

それでは、日程第2、報告事項に入ります。事務局から報告をお願いいたします。岩間教育企画課長。

○岩間裕子教育企画課長 資料はございませんので、口頭で御報告をさせていただきます。

いわて木材利用優良施設コンクールにおける優秀賞受賞について御報告をいたします。このコンクールは、岩手県及び岩手県木材需要拡大協議会が共催で実施するもので、県内の建築物等施設において全部または一部に県産材、地域材等を有効に利用して整備されたものを対象としておりまして、花巻市の農村林務課において推薦書を提出いただいていたものでございます。今回受賞の対象となりました施設は花巻市立大迫中学校であり、岩手県知事賞（優秀賞）を施主として花巻市、設計者、株式会社木村設計A T、施工者、藤正建設株式会社、株式会社佐賀建設特定建設工事共同企業体が受賞したものでございます。表彰は、去る1月8日に岩手県民会館大ホールで行われました平成30年度いわて農林水産躍進大会において行われまして、教育長が市長代理として出席し、表彰状を受け取ってまいりました。なお、表彰状は大迫中学校において保管しております。以上報告いたします。

○佐藤勝教育長 県民会館で表彰を受けてまいりました。今の報告について、特に何か質疑ございませんでしょうか。

(なしの声)

○佐藤勝教育長 それでは、この報告に対する質疑を終結いたします。

その他ございませんか。中村学校教育課長。

○中村哲学校教育課長 平成30年度花巻市教育委員会児童・生徒栄誉賞について御報告を申し上げます。

資料No.1を御覧ください。本栄誉賞ですが、目的は市内小・中学校に在学する児童・生徒の体育、文化等の行為および活動において、学校教育の向上に資する顕著な成果を収めた者について、その栄誉をたたえるものでございます。表彰の概要ですが、表彰対象期間は、平成30年4月1日から平成30年12月31日をひとつの区切りとしております。なお、現在も中学校体育連盟等のスキー大会とかいろいろなものが行われておりますが、1月以降の成績については、結果に基づいて学校推薦をいただき、追加という形で表彰をさせていただく予定にしております。表彰基準ですが、「花巻市教育委員会児童・生徒栄誉賞推薦基準」が次のページにございます。去る1月18日、石鳥谷総合支所1階、1-1会議室におきまして布臺部長を議長とし、審査委員会を開催いたしまして、その中で、基準に沿って審査をいただきました。(1) 体育的分野におきましては、県大会の1位、東北大会3位以内、全国規模の大会ではおおむね8位以内の入賞。それから、(2) 文化的分野におきましても同様の基準でございます。ただし、例えば、吹奏楽コンクールの県大会で金賞という場合であっても、東北大会に進める金賞と進めない金賞がありますので、その場合は、上位大会に出場となった学校に対しては表彰を行うという内規がございます。(3) 善行・模範的活動分野では、花巻市で開催している早起きマラソン120日以上参加の児

童生徒、それから、神楽など郷土芸能継承活動を小学校中学校を通して継続して取り組んできた生徒について、小学校では6年生、中学校では3年生に対して表彰を行ったところでございます。

審査の状況について御報告いたします。審査の結果、個人の部では小学校108人、中学校63人、計171人の表彰、それから、団体の部につきましては、小学校7団体、中学校21団体、計28団体の表彰という結果になりました。各名簿につきましては、今、各学校に氏名の最終確認を行っております。それから、成績につきましても、正確を期すという意味で確認をさせていただいておりますので、後日、御提示申し上げます。また、特別栄誉賞でございますが、この特別栄誉賞というのは、全国大会におきまして1位相当という大変優れた賞でございますが、今年度は該当なしという結果になっております。

表彰につきましては、インフルエンザが蔓延しておりますので、感染等拡大を防ぐために、今年度も巡回形式で各学校に賞状を伝達する方式をとらせていただきたいと思います。後ほど、各委員様方にも御協力をいただきまして、学校に伝達させていただければと思っております。期日は2月6日、水曜日の午後を予定しております。どうぞよろしく願いいたします。以上、報告とさせていただきます。

○佐藤勝教育長 ただ今報告ありましたけれども、このことについて御質問等ございましたらお願いいたします。

皆様から無ければ私から質問してもよろしいでしょうか。学校への審査結果のお知らせは、いつになるんですか。

○中村哲学校教育課長 審査の部分について、各学校から上がってきたものについては既に口頭で該当学校に報告を終了しております。

○佐藤勝教育長 花北教振で独自に表彰があるのですが、児童・生徒栄誉賞から漏れた子供たちを表彰するということです。ですから、今回、小中学校で21人が推薦から漏れたこともあるので、そちらでももらえなければアンバランスになると思って質問しました。ちなみに、昨年度に比べてどうでしょうか。

○中村哲学校教育課長 昨年度の表彰数ですが、小学校個人の部では133人、中学校では77人となっております。それが、今年度は小学校が108人、中学校が53人ということで、昨年度、個人の部で210人の表彰対象者が今年度は171人ということで30名ほど少なくなっています。団体につきましては、小中合わせて昨年度21団体でしたが、今年度は28団体と団体は増えております。

○佐藤勝教育長 ありがとうございます。ほかに、児童・生徒栄誉賞について質疑はございませんか。

(なしの声)

○佐藤勝教育長 それでは、報告に対する質疑を終結いたします。ほかに報告は何かございませんか。

(なしの声)

○佐藤勝教育長 それでは、以上で本日の議事日程を終了いたします。本日の教育委員会議はこれをもって閉会といたします。どうもありがとうございました。